
富士山を擁する静岡の地で、会員増強などの実践を誓う

～第44回全国老人クラブ大会が開催されました～

去る10月27日から2日間にわたり、日本が誇る世界遺産、富士山を望む静岡県の複合施設「グランシップ」において「第44回全国老人クラブ大会」が開催され、全国各地から約1,800名が参加しました（本県8名参加）。

1日目は3つのテーマによる研究部会、会員増強や支え合い活動推進の各部会では、先進地の取り組みの事例発表と活発な研究討議が行われ



れました。第3研究部会である「演じる部門」では、創作劇やコーラス、ファッションショーなどの発表があり、審査の結果、新聞紙を使ったリサイクルファッションショーを披露した埼玉県の川口市老連女性部が金賞を受賞しました。

地元コーラスグループによる清々しい歌声で始まった2日目は、晩年を静岡で過ごした徳川家康をお祀りする最初の神社、久能山東照宮の落合宮司による講演が行われ、徳川家康にまつわるエピソード、外交政策などについて話されました。その後、地元中高生による若々しいチアリーディングを挟み、式典に入りました。表彰では老人クラブの育成に功績のあった個人、団体に対する表彰が行われ、本県では下記の方が表彰を受けられました。

老人クラブ育成功労	大高 伸（鳴門市）
	真鍋 勝（東みよし町）
優良老人クラブ	住吉団地福寿会（藍住町）
優良老人クラブ連合会	つるぎ町老人クラブ連合会

続いて、大会宣言の朗読に移り、健康寿命の延伸など5つの項目の実践を満場一致で決議しました。最後にお馴染みの「青い山脈」を合唱し、全日程を終了しました。次年度第45回大会は北陸、富山県において開催されます。

宣 言

全国の老人クラブでは、自らの生きがいづくり、健康づくりと共に、同世代の仲間づくり、他世代にも向けた地域づくりの活動に取り組んでいます。

現在、健康長寿社会の実現をめざすわが国においては、健康寿命の延伸とともに、地域における高齢者相互の支え合いがますます重要になっています。

全国の市町村では今年度から3年のあいだに、高齢者が住み慣れた地域で暮らし続けるために、地域団体や住民の参加による支え合い体制を作ることが必要とされています。

老人クラブでは、閉じこもりを防ぎ、心のつながりを深める友愛活動を実践してきました。これらの活動経験をもとに、老人クラブの組織力を活かした見守りや生活支援の取り組みに期待が寄せられています。

また、多くの高齢者がともに集い、すべての地域に仲間の輪を広げる5か年計画の会員増強運動は、今年2年目の運動を展開しているところです。

日本のシンボルであり、人類が共有すべき世界の宝「富士山」を擁するここ静岡の地に集う全国の老人クラブ代表は、「のばそう！健康寿命、担おう！地域づくりを」のメインテーマのもと、次の事項の実践を誓い、ここに宣言します。

- 一、高齢者の日常生活を支える「地域支援活動」への参画
- 一、老人クラブ「100万人会員増強運動」の展開
- 一、健康長寿をめざす「健康づくり・介護予防活動」の充実
- 一、消費者被害防止に向けた活動の実践
- 一、高齢者の尊厳が守られる社会保障制度の確立

平成27年10月29日

第44回全国老人クラブ大会

